

秋田県商工会青年部・女性部連合会 創立50周年記念式典 過去と未来をつなぐ ～次なる50年に向けて～

県商工会青年部・女性部連合会創立50周年記念式典を11月2日、アトリオンで盛大に挙行了しました。



講演



義援金贈呈

「記念講演」

前経済産業副大臣 自由民主党幹事長代理 参議院議員の松村祥史氏より「今なぜ商工会が必要なのか」と題し、これからの商工会のあり方等についてご講演いただきました。講演後には、50周年記念の一環で行った「500円玉募金事業」から100万円を熊本県復興に向けて義援金として贈呈しました。

「記念式典」

功労者等表彰では、これまでの青年部・女性部活動の功績を称え、274名・13優良部会商工会に表彰状を贈呈しました。また、来賓を代表し、東北経済産業局 佐久間産業部長、全国商工会青年部連合会 越智会長、全国商工会女性部連合会 松田副会長よりご祝辞をいただき、次なる50周年に向けて新たなスタートが力強く切られました。



功労者等表彰



記念式典



鏡開き



アトラクション

「記念祝賀会」

会場をキャッスルホテルに移し、佐竹知事をはじめ多数のご来賓をお招きし、祝賀会を開催しました。アトラクションとして、青年部による「自慢の逸品屋台コーナー」や、女性部による踊りが披露され、参加者は地区を越えて交流を深めました。

創立50周年記念事業 県青連・県女性連記念座談会

歴代会長等を招聘し、県青連・県女性連及び各商工会青年部・女性部活動の歴史を振り返るとともに、これからの活動の方向性などについて、意見や提案をいただくために座談会を開催しました。

青年部は7月21日、女性部は8月30日に4名の歴代会長等をお迎えし、記念座談会（パネルディスカッション）を行いました。これまでの歴史の振り返り、「現役青年部員への期待」や「女性部活動への期待」について熱く語っていただきました。

記念座談会の内容は来年発行される50周年記念誌に掲載する予定です。



県青連 記念座談会



県女性連 記念座談会

企業経営にプラス^{plus}するワンポイント情報誌

plus

秋田県商工会連合会報
Akita Prefectural Federation of
Societies of Commerce and Industry

あきた Biz 12

2017
December
Vol.527

商工会青年部・女性部 未来宣言

将来を見据えた青年部及び女性部活動について主体的・自律的な活動を展開していくために商工会創生プランに示されている「中期活動ビジョン」を策定・実施し、その実現に向けた決意を確固たるものにするため、ここに未来宣言を行います

- 一 われわれ商工会青年部は、若手経営者・後継者としての資質向上と、経営ルール理解に努め、企業競争力の源泉となる人材・技術・組織力・ブランドなどの見えざる資産を最大限に生かした「知的資産経営」を目指します
- 一 われわれ商工会青年部は、部員間による異業種ネットワーク強化によるビジネスチャンスの創出を図り、相互に切磋琢磨することで地域経済の活性化に寄与します
- 一 わたしたち商工会女性部は、自社経営の根幹を支えるために個々の経営能力・スキル向上に努めるとともに、女性の活躍推進社会を通じて相乗的な発展を目指します
- 一 わたしたち商工会女性部は、これまでのおもてなし活動をさらに発展させ、女性ならではの感性や特性を生かした活動を推進することにより、地域との連携による地域コミュニティビジネスに取り組みます

われわれ商工会青年部・わたしたち商工会女性部は、地域商工業者の主役として地域活性化の一翼を担い、次なる50年に向けて、地域活性化に寄与する存在であり続けることを、ここに宣言します

平成29年11月2日

秋田県商工会青年部連合会
秋田県商工会女性部連合会

これまでの歩みを活かし新たなステージへ



宣言を行うよこて市青年部・柿崎裕貴部員と
由利本荘市女性部・阿部里美部長

本年度は、県青連・県女性連創立50周年の記念すべき年に当たり、永年の商工会青年部・女性部活動に尽力された功績をたたえ、記念式典を挙行了しました。

商工会青年部・女性部の果たす役割の重要性を改めて認識・共有するとともに、次なる50年に向けて、地域活性化に寄与する存在であり続け、変動する経済環境に対し、自身の経営基盤の強化や相互に連携を図りながら挑戦し続けます。

広告

万が一の時に備え、
従業員やご家族を
守ります

貯蓄 融資
商工貯蓄共済
保障
月々
2,000円
から

全国商工会
会員福祉共済
秋田県版
月々
1,000円
から



※この紙は再生紙を使用しています。発行所/秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話/018-863-8491(代) 購読料/1部10円(会費を含む) 毎月1日発行 発行日/平成29年12月1日

(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

青年部・女性部のこれまでの歩み

商工会法が施行されてから7年後の昭和42年6月25日に県内42部会1,888人の青年部員で「秋田県商工会連合会青年部」という名称で設立されました。

設立から現在まで商工会の事業を積極的に推進するとともに、経営者としての資質を向上させ、商工業の総合的な発展と地域の振興・発展、社会一般の福祉の増進、新しいまちづくりに取り組んでいます。

青年部のあゆみ

	県青連設立 (昭和42年)	設立から10年 (昭和52年)	設立から20年 (昭和62年)	設立から30年 (平成9年)	設立から40年 (平成19年)	設立から50年 (平成29年)
青年部会数	42部会	68部会	68部会	64部会	30部会	21部会
青年部員数	1,888人	3,089人	2,656人	1,656人	1,057人	843人
青年部主な事業 (青女共通含む)	昭和42年秋田県商工会青年部連合会設立	昭和47年商工会青年部の歌「明日をつくる友達」を発表	昭和49年第1回県商工ゼミ全県集会開催	昭和58年第1回全県商工会特産品フェア開催	平成6年第1回東北六県・北海道青年部研修交流会開催	平成26年青年部員資格「40歳まで」から「45歳まで」に延長
	昭和43年第1回野球大会を開催	昭和48年海外研修事業を開催	昭和53年「第1回全県ボランティアの日」実施	昭和60年全県統一献血運動のスタート	平成10年青年部主張発表第1回秋田県大会開催	平成29年50周年記念式典



創立総会

■ 県青連創立

初代会長に村岡兼造氏(旧本荘市)を選出。全市町村の商工会青年部をまとめ、組織の拡大を目指して村岡会長は先頭に立って県内すべての商工会を精力的に訪問。昭和44年8月、全国初の青年部の完全結成大会を開催しました。

■ 商工ゼミナール経営実践講座

商工業の実態や地域における商工会の役割、青年部・婦人部活動や自社の将来について勉強する目的で昭和49年から商工ゼミナール経営実践講座が開講されました。事業経営の知識、地域づくり、青年部員としてのマインドなどをたくさんの仲間と議論し、積極的に自己研鑽に励みました。



昭和51年頃の講座風景



出発前の集合写真

■ 第7回秋田県商工会・商工青年・婦人の翼中国視察研修

昭和56年6月29日、県民待望の新秋田空港の開港を記念して、海外直行便第1番機により商工会員、青年部員、婦人部員視察団一行151人は中国へ旅立ちました。商工業関係者との交流のため上海、天津、北京等を訪問し、中国の現状、急成長を遂げる経済の現状を目の当たりにして、異文化への驚きや感動を体験することができました。

■ 若い経営者の主張・県青連創立50周年「記念座談会」

平成19年より、県内の青年部が一堂に会し、『若い経営者としての自覚と地域・経営に対する想い』を発表する大会を開催。平成29年の第20回大会はゆざわ小町商工会青年部の藤原哲也さんが最優秀賞に輝きました。

また、歴代会長による記念座談会では青年部活動を振り返るとともに、これからの活動の方向性等について意見交換を行いました。



表彰記念写真

同年、県内20部会1,928人の婦人部員で「秋田県商工会婦人部連合会」という名称で設立されました。「女性の特性を活かし、地域振興発展のよき協力者であるとともに、推進者となります」、「商工女性の使命感に徹し、組織活性化の原動力となります」、「社会一般の福祉の増進に努め、豊かなまちづくりの担い手となります」という三つの誓いのもと、商工業の発展と地域貢献を目指して、日々、地域に密着した活動を行っています。

女性部のあゆみ

	県婦人連設立 (昭和42年)	設立から10年 (昭和52年)	設立から20年 (昭和62年)	設立から30年 (平成9年)	設立から40年 (平成19年)	設立から50年 (平成29年)
女性部会数	20部会	67部会	68部会	64部会	30部会	21部会
女性部員数	1,928人	3,686人	3,800人	3,260人	2,278人	1,456人
女性部主な事業 (青女共通含む)	昭和42年秋田県商工会婦人部連合会設立	昭和50年第1回商工会婦人部バレーボール大会の開催	昭和53年第1回全県商工会婦人部レクリエーション大会	昭和60年全県統一献血運動のスタート	平成12年婦人部から女性部に名称変更	平成18年「おもてなし隊」心得5箇条制定「ほろ酔いごまち」販売
	昭和48年海外研修事業を開催	昭和53年「第1回全県ボランティアの日」実施	昭和58年第1回全県商工会特産品フェア開催	平成6年第1回東北六県・北海道婦人部研修交流会開催	平成13年女性部主張発表第1回秋田県大会開催	平成29年50周年記念式典



完全結成記念大会

■ 県婦人部連合会完全結成

初代会長に田村栄子氏(旧花輪町)を選出。結成されてから4年後の昭和46年6月、秋田県商工会婦人部連合会の完全結成記念大会を開催。当日は婦人部員1,300人が集い、当時の68の市町村それぞれの婦人部代表が婦人部の歌の斉唱や、体験発表を行うなど盛大に行われました。

■ おもてなし隊による「おもてなしコール」

平成19年に開催された「秋田わか杉国体」では、競技に参加する選手・監督たちを励まし、大会を盛り上げるために女性部員による「おもてなし隊」を結成し、全員がおそろいのピンクのユニフォームで「おもてなしコール」と大会運営協力を行いました。



おもてなしコール



表彰記念写真

■ 商工女性の主張～商工会女性部主張発表 秋田県大会～

平成14年より、県内の女性部が一堂に会し、『商工女性の主張』を発表する大会を開催。平成29年6月8日に開催された第15回大会は、かつの商工会女性部の三ヶ田美香子さんが最優秀賞、湖東3町商工会女性部の小柳文子さんが審査員特別賞に輝きました。

■ 東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会・主張発表ブロック大会

平成29年7月、東北六県・北海道から約430名の商工会女性部員が一堂に会し、秋田市を会場に開催しました。本県からは2日間で延べ300名もの女性部員が、県女性連創立50周年を記念してリニューアルされた「新おもてなし隊Tシャツ」姿で会場をピンク色に染め上げ、他県からの参加者をおもてなしました。



研修会・大会風景

青年部・女性部の課題と今後の活動ビジョンの方向性

青年部・女性部の課題

■ 部員数の減少

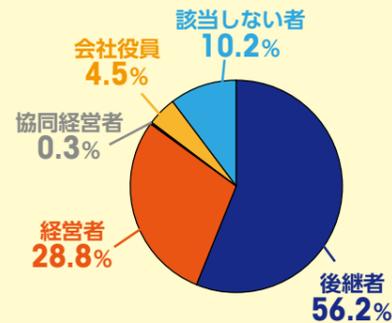
・昭和42年創立時には、青年部員1,888名、女性部員1,928名であったが、50年たった今、青年部員843名、女性部員1,456名となり、部員数の減少が大きな課題となっている。



■ 事業承継準備の遅れ (青年部)

・部員の経営への関与を見ると、後継者の比率が56.2%で経営者を大きく上回っており、事業承継が進んでいない現状が見てとれる。

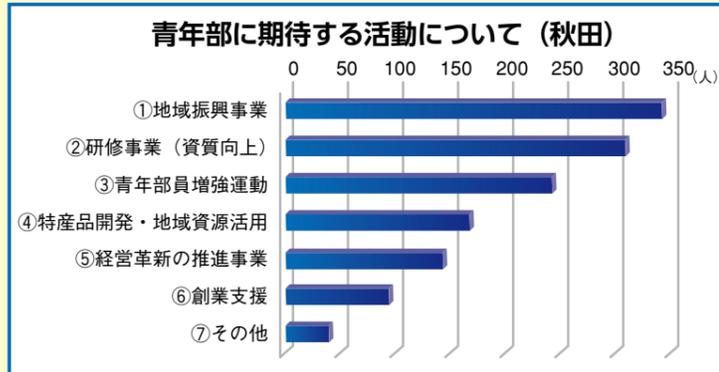
部員の経営への関与について (秋田)



引用：H28 青年部実態調査より

青年部に期待する活動について

・青年部に期待する活動は、①地域振興事業 (342人) が一番多く、次いで、②研修事業 (資質向上) (309人)、③部員増強運動 (243人) となっている。若手経営者・後継者としての資質向上と併せて、地域経済の活性化に寄与したいという気持ちが大きく表れている。

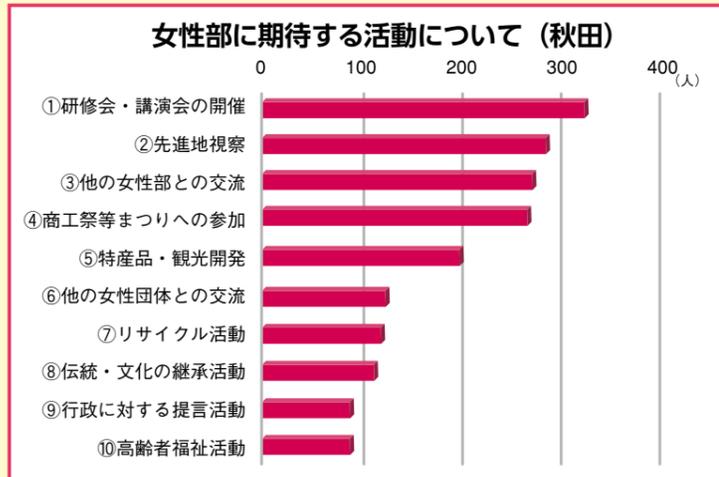


引用：H28 青年部実態調査より

女性部に期待する活動について

・女性部に期待する活動は、トップ3が全国と同様で、①研修会・講演会の開催 (322人) が一番多く、②先進地視察 (282人)、③他の女性部との交流 (271人) となった。

地域と連携した活動は根強く支持されている。



引用：H27 女性部実態調査より

10年先を見据えた活動ビジョンの方向性

青年部

■ 円滑な事業承継の推進

後継者から経営者への転換を円滑に行うために、事業承継に積極的に取り組み、経営のルールを習得するためのセミナー開催や自社の事業承継計画策定等に取り組む。

■ 経営者としての資質向上の事業の推進

事業承継実施後に自社の成長及び発展をさせるため、経営者としての自覚を認識し、資質向上事業を実施する。

■ ネットワーク強化によるビジネスチャンスの創出

青年部員間や関係他団体との新連携や異業種ネットワークを活用し、事業承継後は経営者として企業競争力の強化やビジネスチャンスの創出を目指すことで部員相互に経営力の向上を実現する。

女性部

■ 女性活躍推進のための研修事業の推進

女性ならではの目線・感性から経営の礎を築くため、個々の経営能力・スキル向上を目指す。

■ 地域コミュニティビジネスの確立

従来の地域振興活動を拡大し、地域コミュニティの創出や地域特色を生かした新たなサービス (商品) を企画・提案するための事業を実施する。

■ 積極的なおもてなし活動の推進

従来の「おもてなし活動」を拡充するため、先進地の多種多様な取り組みを学び、女性ならではの集合体として地域活動に還元する。

会長挨拶 新たなステージに向けて

秋田県商工会青年部連合会 会長 田中 洋平



私達商工会青年部は、青年部指導者研修を通じた資質向上事業や地域特産品のPRで地域振興事業を実施し、提案公募型シーキューブ事業やワンポイント経営塾、関係機関との連携強化、事業承継の推進、部員間ネットワーク強化などを展開してまいりました。

近年は、「商工会創生プラン」の中で「青年部・女性部中期活動ビジョン」を策定のため、今後の活動の方向性と将来像を定め、実現するために必要な活動方針と具体的な事業を日々検討しており、若手経営者、後継者としての自覚を持ち、相互に経営力を向上させ、連携した取組を行うことによって地域経済において大きな波及効果を実現していきたいと考えております。

秋田県商工会女性部連合会 会長 伊藤 まり子



私達商工会女性部は、創立以来、地域経済の発展や社会福祉の増進に資するために様々な事業や活動に取り組んできました。

特に、秋田を訪れた方々におもてなしの心をもって接するべく「おもてなし隊」を結団し、「おもてなし心得 五箇条」を制定することで、女性部員の想いをひとつにし、各地域での女性部活動に邁進してまいりました。女性部員がおそろいのピンク色の「おもてなしTシャツ」や「おもてなしジャンパー」姿で行った、秋田わか杉国体や秋田ディスティネーションキャンペーンでのウェルカムコールなどは、皆様のご記憶にも新しいところと存じます。

50周年を契機として、商工会女性部は女性ならではの感性に一層の磨きをかけ、部員一丸となって、これからの見据えた事業推進を継続して行ってきたいと思います。